

令和5年度 第1回豊田市藤岡地域会議 議事録

開催日時	令和5年4月27日(木)	開会	閉会
		19時00分	20時40分
会場	藤岡交流館 多目的ホール、小会議室		
出席者	委員 15名出席(加藤委員、浦委員 欠席)		
	藤岡支所 山田支所長、佐藤副支所長、林担当長、内野書記 近藤市議、藤岡交流館 安藤館長		
次第	1 「豊田市民の誓い」唱和 2 開会 藤岡地域会議会長、新任委員、藤岡支所あいさつ 3 協議 (1) 提言に向けた各部会での検討 4 報告 (1) 委員からの報告(各団体の活動など) (2) 令和5年度地域会議開催スケジュールについて (3) 各種団体役員について 5 事務連絡		

■ 議事(要約)

3 協議

部会に分かれて意見交換を行った。各部会の意見交換の内容は、以下のとおり。

(1) 地域の課題抽出、提言部会

ア どのような状態だと「安心・安全」だと思うのか

- ・自宅から、半径〇〇m以内にAEDがあり、操作できる人もいる。
- ・救命措置に関する知識や技能を有する人が近くにいる。
- ・「自分達で助けあう」という気持ちを皆が持っている。

イ 藤岡地域で取り組むべき項目の絞り込み

- ・市に求めることとしては、以下のとおり意見があった。
 - 救命講習の受講者に対して特典(インセンティブ)を設ける。
 - 救命講習の受講者が多くいる地域に、優先的にAEDを設置する。
- ・地域で行うこととしては、以下のとおり意見があった。
 - 共助の意識醸成が必要
 - 救命措置ができる人を増やす。
 - 近くに消防署があると安心と感じるように、知識がある人を増やすことは「小さな消防署」を作っていくようなもの。

(2) 避難行動の実効性向上部会

ア 防災意識の醸成について

- ・「防災意識の醸成」といっても全員が急に意識を高めるのは難しいのではないか。
- ・人によって防災に対する意識はバラバラである。

イ 各々が防災意識を高めていくためのアイデア

- ・各地域団体に強制的に学ぶ場を作る。
 - 組長会など地域住民が招集される場で、防災に関して勉強や話し合いができる機会をつくる。
 - 災害を経験した方を講師として呼ぶ。
 - 人が集まる場（石畳の朝市等）で防災関連の映像を流す。
- ・各地域団体に防災に詳しい人材（防災士など）を育てるのはどうか。
 - 各地域団体に防災士になるための講座を宣伝してみてもいいのではないか。
 - 市では防災リーダー養成講座というものもある。
- ・防災キャンプのような楽しみながら学べるイベントを開催する。

4 報告

(1) 委員からの報告（各団体の活動など）

藤岡中学校 PTA、藤岡地区高齢者クラブ連合会、藤岡石畳地区地域づくり協議会の取組に関する報告があった。

(2) 令和5年度地域会議開催スケジュールについて

令和5年度地域会議スケジュールについて事務局から報告した。

(3) 各種団体役員について

地域会議に対して依頼のあった各種団体の役員等の推薦について、選出した委員を事務局から報告した。

【今後の開催予定】

令和5年度第1回地域会議（5月25日（木）午後7時から藤岡交流館 多目的ホール）